

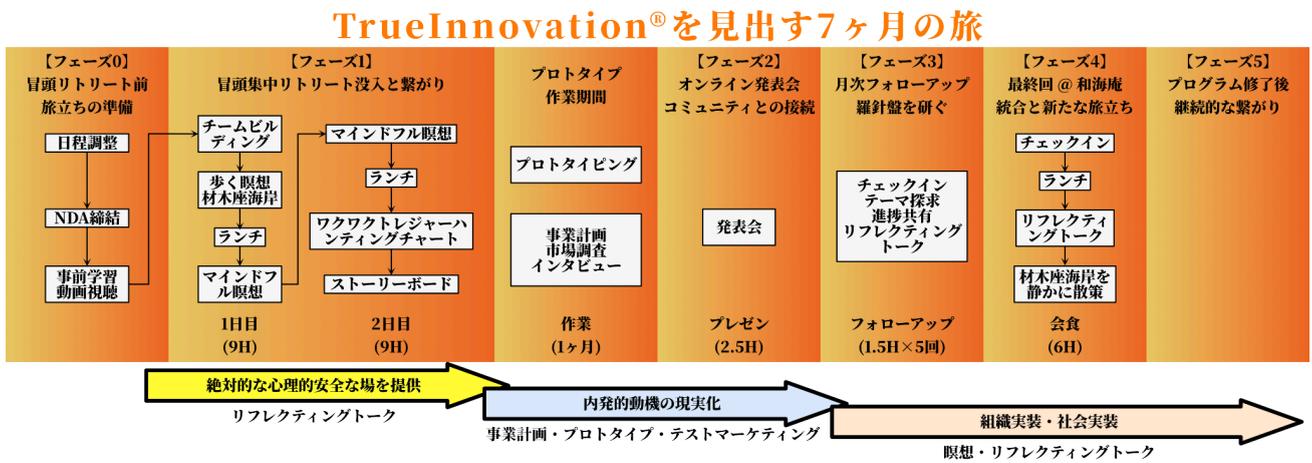
ZenSchool研修プログラム導入提案書

作成日: 2025年7月29日

1. エグゼクティブサマリー

ZenSchoolは、AI時代における人材育成の新たなアプローチとして、マインドフルネス瞑想と独自のイノベーション理論「True Innovation®」を組み合わせた7ヶ月間の変革プログラムです。

7ヶ月間のカリキュラムは、鎌倉での2日間リトリート(序章)→オンライン発表会(第1章)→月次フォローアップセッション5回(第2-6章)→最終統合セッション(終章)の流れで、段階的に内なる変容と創造性開花を導く構成。



主要なポイント

プログラム期間: 7ヶ月間(冒頭2日間集中リトリート + 6ヶ月フォローアップ) 投資額: 300,000円(税別) per person

実績: 2011年から14年以上の運営実績

独自性: AI時代における人間固有の能力開発に特化

実証された成果

航空宇宙関連企業の累計調達額430億円超の事例をはじめ、イギリス「Techround」注目スタートアップ10社に卒業生2社選出という国際的評価も獲得しています。



2. 受講者属性分析(229名の詳細データ)

2.1 受講者の基本属性

総受講者数: 229名

参加企業数: 211社

業界カテゴリー: 49種類

2.2 経営者層の高い参加率

経営者層比率: **62.2%**

代表取締役: 91名 (39.6%)

代表: 24名

代表取締役社長: 12名

その他役員・C-level

この高い経営者層比率は、ZenSchoolが経営者向けの価値の高いプログラムとして認識されていることを示しています。経営者自らが学び、組織変革を主導する姿勢が見られます。

2.3 業界別分布

製造業が最多(**37.4%**)

1. 製造業: 86名 (37.4%) - 81社から参加
2. コンサルタント: 20名 (8.7%)
3. 大企業: 20名 (8.7%)
4. 個人事業主: 19名 (8.3%)
5. IT企業: 12名 (5.2%)

製造業の強い存在感は、日本の基幹産業からの参加が顕著であることを示しています。

2.4 地域別分布

東京中心の全国展開

1. 東京: 38.0%
2. その他地域: 29.3% (多様な地域からの参加)
3. 殿町: 12.7% (製造業集積地域)
4. 豊田市: 9.6% (製造業集積地域)
5. 富山: 6.1%
6. 関西: 4.4%

全国各地からの参加があり、地域密着型の特徴を持ちながら、東京を中心とした展開が見られます。

3. 受講生の具体的成果事例

3.1 食べる瞑想「Zen Eating」の国際展開

ZenSchool卒業生は、マインドフルネスと「食べる」という日常を結びつけた独自のプログラム「Zen Eating」を創設しました。多様な国際経験を持つ同氏は、インドでの瞑想修行や比較思想の学習を経て、現在GoogleやMcKinseyといったグローバル企業から個人まで、世界中の人々にプログラムを提供しています。国連でのプレゼンテーションやダライラマとの面会も実現しています。

3.2 町工場から美術館への変革

製造業企業の代表取締役(11期卒業生)は、ZenSchoolでの内面的探求を通じて自身の「美意識」を再発見しました。事業承継後の厳しい状況で会社の未来を模索していた同氏は、マインドフルネス瞑想と対話の中で「美術館のような工場を創りたい」というアイデアに到達しました。

この発想は、伝統工芸をアルミ削り出し技術で再現したメタルアート作品の制作につながり、テレビ番組で取り上げられる大きな反響を呼びました。2017年には世界初のメタルア

ート専門美術館を設立し、町工場のイメージを根本的に変革しました。

3.3 ソーシャルイノベーション事例: 熊野新道プロジェクト

zenschool卒業生のソーシャルイノベーション事例



アダムさんは、三重県熊野市で2021年7月7日に一般社団法人を設立し、築100年の古民家をリノベーションして、世界のイノベーションセンターを創っています。自然や先人の知恵に敬意を持ちながら、現在のノウハウや技術に対応した、人々がワクワク感を持つことができる再生型な未来社会の実現をミッションとしています



誰でも自由に腰掛けられるベンチを歩道に置いた自宅の敷地内などに置く活動「置きベン」に、卒業生の小畑さんが取り組んでいます。ぬくもりある手作りのベンチが道行く住民から好評を得ており、活動の普及を目指しております。



小川さんは起業して、VRを活用して福祉業界の課題解決に取り組んでおられます。先日は新潟でフクシフェスに参加。ご自身は感覚過敏の疑似体験VRと、VRで世界を旅する旅行体験会のブースで出展させられました

ZenSchool Metaverse第2期卒業生は、三重県熊野市で「熊野新道」という一般社団法人を設立し、地域活性化とソーシャルイノベーションを推進しています。

プロジェクトの概要 - 設立: 2020年6月 - 所在地: 三重県熊野市井戸町 - 主な事業: 1. Eラーニングコース開発 2. 子供の環境教育(フードフォレスト) 3. イノベーションセミナー (ZenSchool)

価値観とアプローチ - エコシステムの価値を最大化: 自然及び事業パートナーの組織文化、地域の自然環境や資源、生物多様性を尊重するエコシステムの価値に配慮した組織経営 - 共創・協働による事業推進: 様々な主体と共に学び、協働することを美德とし、楽しみながら事業を推進 - 先人の叡智・自然に学ぶ: 「ムスヒ」という古語に表される熊野の土地がもつ精神性に敬意を払いながら、知識、心、テクノロジー、人材を創造

ソーシャルインパクト このプロジェクトは、過疎化が進む地方都市において、若者の流出と高齢化による人口減少という課題に対し、イノベーションとの親和性を活かした新しいアプローチを提示しています。熊野の豊かな自然、重要な歴史、日本の精神性「ムスヒ」を活用し、これまでの経験を活かした活動を熊野で実施することで、地域社会への貢献を実現しています。

4. プログラムの特徴と受講生の声

4.1 「ワクワク」を基準とした活動選択

「『ワクワク』することを基準に活動を選んできた自身の探求が、ユニークなプロジェクトや予想外の機会に繋がった」(卒業生)

「ZenSchoolが『何をやってもいい』という原点を再確認できた。クリエイションの源泉は参加者一人ひとりの心の中にある」(卒業生)

4.2 AI時代における人間固有の価値

「AI時代に求められるのは『身体性』や『巻き込む力』といった人間の能力」(卒業生)「AI時代だからこそ人間的な感覚や繋がりが重要になる」(卒業生)

4.3 「くだらないものグランプリ」の革新性

ZenSchool卒業生が発案した「くだらないものグランプリ」は、コロナ禍で展示会が中止になった町工場の社長たちから生まれました。一見ふざけた名前のイベントですが、実際は技術力を楽しく伝える「トロイの木馬」として機能し、以下の効果を生み出しています：

プレゼン動画制作によるマーケティングスキルの向上

SNSでの話題性による従来を超える展示会を超える注目の獲得

親しみやすいブランディングの実現

「くだらない」ことには正解がないため、参加者が安心して挑戦でき、本当の創造性とコミュニケーションが生まれる仕組みとなっています。

5. プログラム詳細

5.1 投資概要

項目	金額
参加費用	300,000円(税別)
総投資額	330,000円(税込)

2026年6月より受講料が50万円に改定予定(現在は優遇価格)

5.2 競合比較

項目	ZenSchool	一般的研修	MBA短期
期間	7ヶ月	2-3日	1-2週間
費用	33万円	10-20万円	50-100万円
経営者層参加率	62.2%	不明	不明
継続コミュニティ	14年間	なし	限定的

6. 対象者プロフィール

6.1 最適な参加者像

業界別推奨度 1. 製造業経営者(実績37.4%)- 技術革新と経営改革への意識が高い 2. コンサルタント(実績8.7%)- クライアント価値向上のための新たな視点 3. IT企業経営者(実績5.2%)- AI時代の人間価値の再定義

役職別推奨度 1. 代表取締役・社長(実績39.6%)- 組織変革のリーダーシップ 2. 役員・C level(実績22.6%)- 戦略的意思決定の質向上 3. 事業部長・部長- 次世代リーダーとしての成長

6.2 地域展開の可能性

東京(38.0%)を中心としながら、製造業集積地域(殿町12.7%、豊田市9.6%)での実績があり、全国展開が可能です。特に製造業が集積する地域での効果が実証されています。

7. 実装計画

7.1 導入ステップ

1. 無料相談会参加(隔週火曜11時/隔週金曜21時)
2. 個別相談実施
3. 正式申込み(最小2名から開催)
4. 7ヶ月プログラム実行

7.2 期待される効果

新規アイデア・提案の増加

リーダーシップ能力の向上

創造的問題解決能力の向上

内発的動機に基づく活動の増加

8. 結論

ZenSchoolは、229名の受講者データ分析により、特に経営者層(62.2%)と製造業(37.4%)に高い価値を提供することが実証されています。製造業での実績が特に顕著である一方、コンサルタント、IT企業、個人事業主など49種類の多様な業界からの参加実績があり、業界を問わず幅広い層に価値を提供できるプログラムです。

航空宇宙関連企業の430億円規模の事業価値創出実績や、熊野新道のようなソーシャルイノベーション事例により、その多様な成果創出力も実証済みです。

推奨理由 1. 製造業での強い実績 - 37.4%の参加率と高い満足度 2. 業界横断的な適用可能性 - 49種類の業界からの参加実績 3. 経営者層への高い価値提供 - 62.2%の経営者層参加率 4. 多様な成果創出 - 事業価値創出からソーシャルイノベーションまで 5. 14年間の継続実績 - 信頼性の高いプログラム運営 6. 国際的評価の獲得 - グローバルな競争力の証明 7. 価格改定前の優遇価格 - 2026年6月より50万円に改定予定

製造業での特に高い効果の実証されている一方、AI時代における人間固有の価値開発というテーマは業界を問わず重要性が高まっており、幅広い業界の経営者層に推奨できるプログラムです。

連絡先

- 無料相談会: 隔週火曜11:00、隔週金曜21:00(オンライン)
- 公式サイト: <https://www.zenschool.jp/>
- 申込み: 最小2名から開催、申込み後に日程調整